

## 第69回 中小企業景況調査

(令和3年4月～令和3年6月)

《 調査結果の要約 》

全業種業況DIは+6.8%（前期比24.9ポイント増）と大幅な回復傾向にある。

業種別では、製造業、建設業、小売業（買回品）、飲食業、サービス業が増加傾向となっており、小売業（最寄品）だけが低下している。

業種別にみると、下記の通りである。

3ヵ月前と比べて好転 ↑ : 製造業、建設業、小売業（買回品）、飲食業、サービス業

3ヶ月前と比べて低下 ↓ : 小売業（最寄品）

1. 全業種業況判断DIは、+6.8%（前期比24.9ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヵ月先は、▲9.7%と再び低下の見通しである。
2. 設備投資件数は17件（3ヵ月前と比べて±0件）となっており、その内訳はOA機器6件、機械設備1件、車両運搬具6件、建物等4件、その他0件となっている。
3. 経営上の問題点（延べ問題点件数に対する比率）は、①需要の停滞32%（59社）が最も多く、②利用者ニーズの変化17%（32社）、③単価の低下・上昇難12%（23社）、④人件費以外の経費の増加8%（14社）、⑤人件の増加6%（11社）が続いている。

<国内および神奈川県の中企業の景況トピックス>

・中企業の業況判断DIは、3期ぶりに低下した。

- 1、2021年4～6月期の全産業の業況判断DIは、▲25.8（前期差3.7ポイント増）となり、2期ぶりに上昇した。
- 2、製造業の業況判断DIは、▲17.2（前期差7.8ポイント増）となり、4期連続して上昇した。業種別に見ると木材・木製品、食料品、金属製品など12業種で上昇し、窯業・土石製品、化学の2業種で低下した。
- 3、非製造業の業況判断DIは、▲28.8（前期差2.4ポイント増）となり、2期ぶりに上昇した。産業別に見ると、卸売業、サービス業、建設業、小売業の全ての産業で上昇した。

・神奈川県中企業の総合業況DIは、前期比6.1ポイント上昇の▲44.5となった。経営状況では、売上DIは前期比12.6ポイント上昇の▲33.3、また、採算DIは同7.2ポイント上昇の▲36.1となった。今後の業況DIを見ると、3ヵ月後は現在比5.8ポイント低下の▲50.3、半年後は同1.4ポイント低下の▲45.9を見込んでいる。

※ 国内は独立行政法人中小企業基盤整備機構、神奈川県は公益財団法人神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋。

《 調査概要 》

1. 調査時点：令和3年7月現在
2. 調査件数：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から151社を抽出しました。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	16	14	22	29	37	33	151
回答数	12	11	13	19	22	26	103
回答率	75.0%	78.6%	59.1%	65.5%	59.5%	78.8%	68.2%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）

4. 調査項目：

(1) D I の状況について

1、自社の状況 2、売上額 3、資金繰り 4、採算 5、従業員数

(2) 設備投資について

(3) 経営上の問題について

5. 調査データについて

(1) D I : Diffusion Index (ディフュージョンインデックス・景気動向指数) の略

各調査項目について、「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

(2) データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。

・四半期：1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」

・前期比：3ヵ月前との比較

・前年同期比：1年前との比較

< D I 計算例 >

「やや増加」「やや好転」50%、「変わらず」20%、「やや悪い」「やや減少」30%の場合、次の様な計算となります。

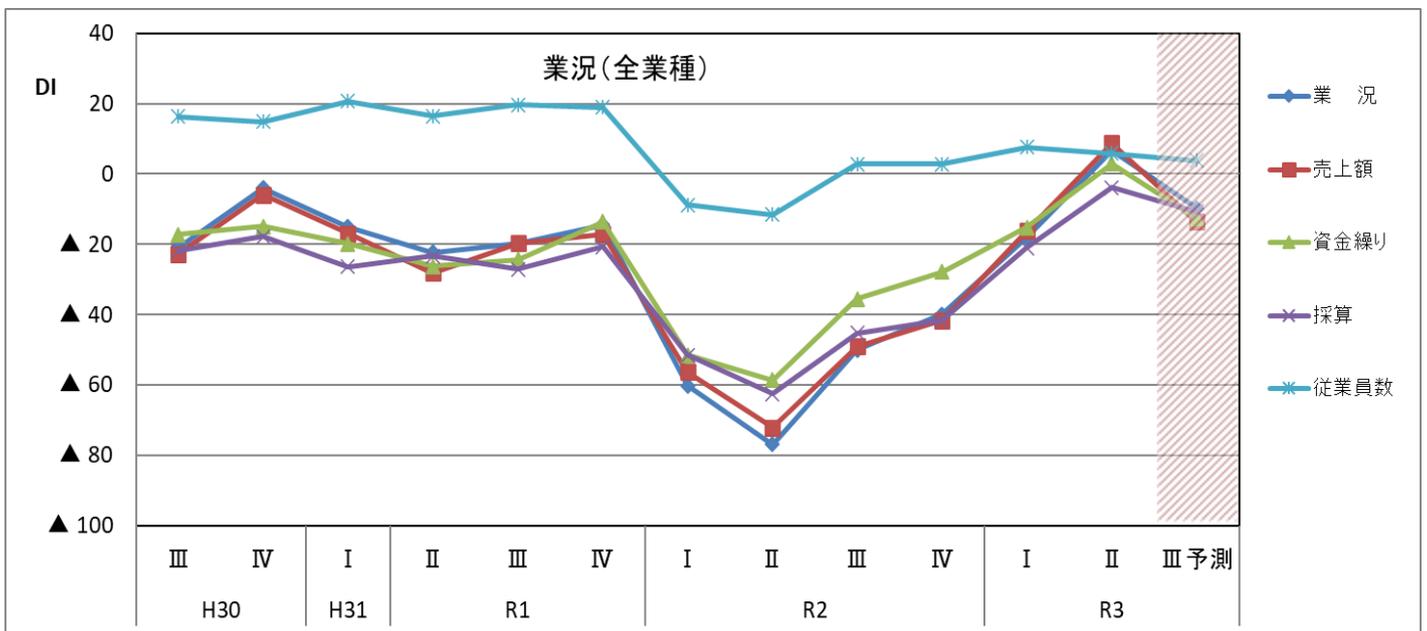
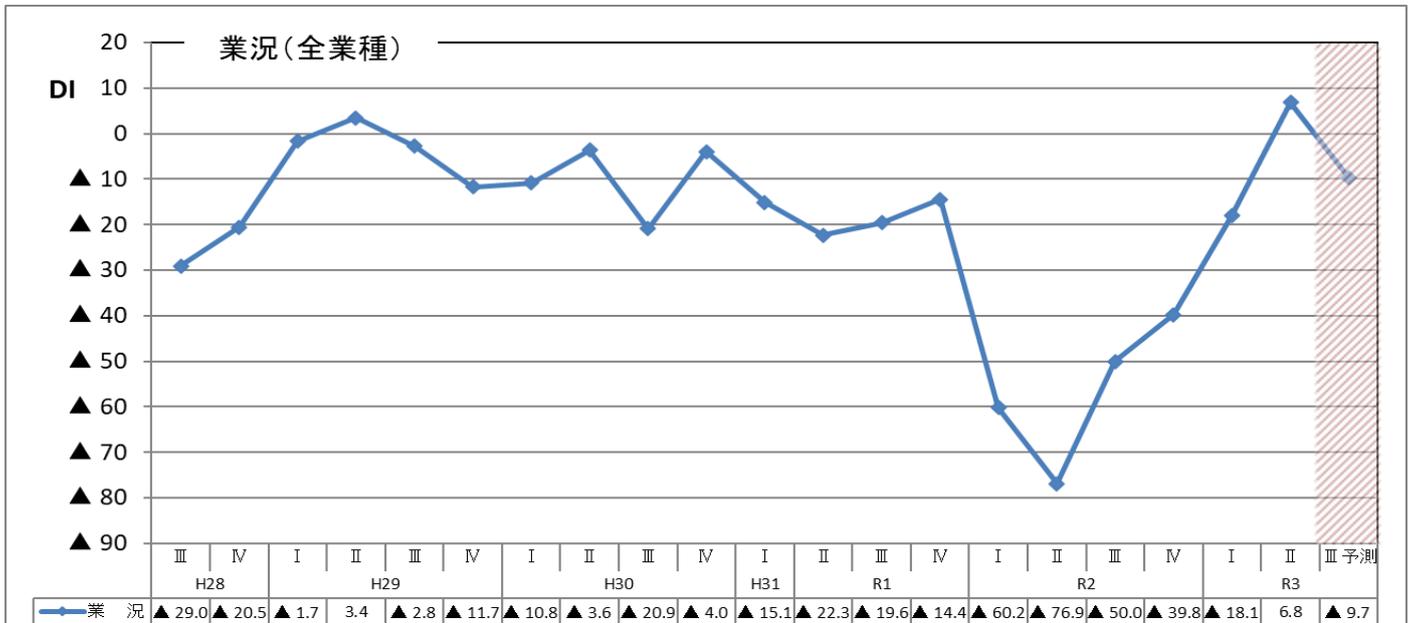
$$\begin{aligned} D I &= +50 - 30 \\ &= +20 \end{aligned}$$

《 調査結果 》

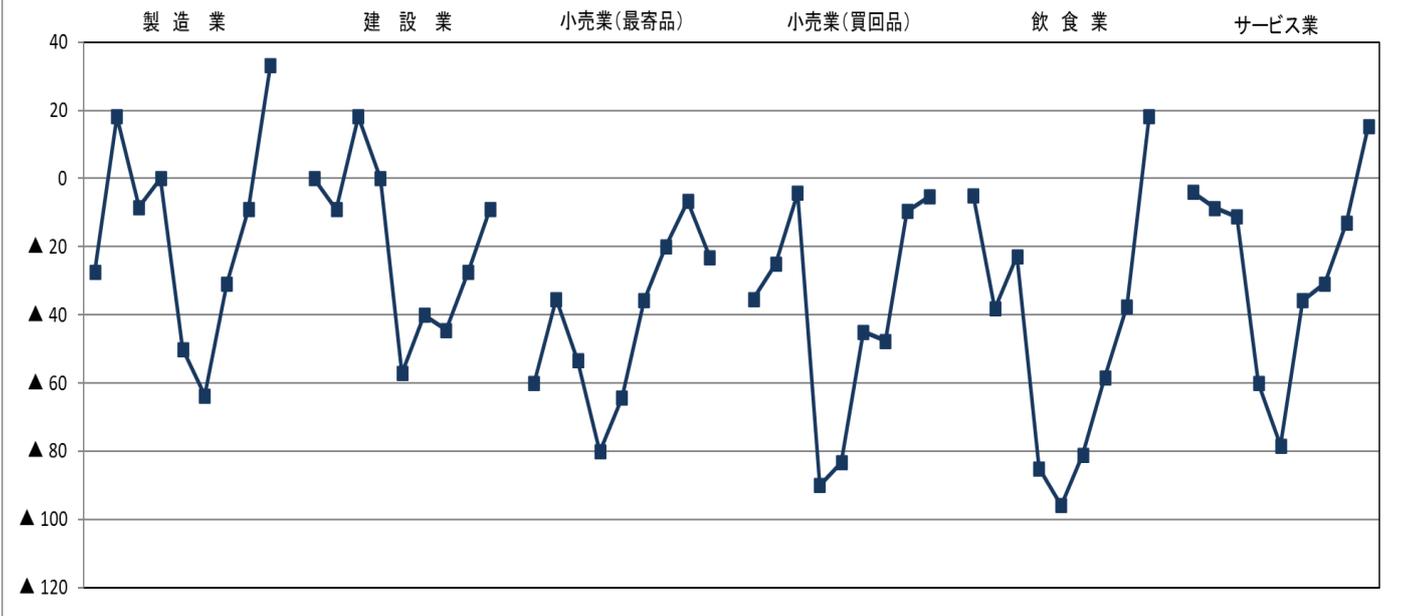
I. 全業種

□業況D I

- ・全業種の業況判断D Iは、+6.8%（前期比 24.9 ポイント増）と大幅な回復傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲9.7%との再び低下の見通しである。
  - ・売上D Iは、+8.7%（前期比 24.9 ポイント増）と大幅な回復傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲13.6%と再び低下の見通しである。
  - ・資金繰りD Iは、+2.9%（前期比 18.1 ポイント増）と大幅な回復傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲12.6%と再び低下の見通しである。
  - ・採算D Iは、▲3.9%（前期比 17.1 ポイント増）と大幅な回復傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲10.7%と再び低下の見通しである。
  - ・従業員数D Iは、+5.8%（前期比イ 1.8 ポイント減）と依然人手不足が進んでいるが、3ヶ月先は、+3.9%とやや人手不足が解消に向かっている。
- ・業種別の業況判断D Iは、製造業、建設業、小売業（最寄品）、小売業（買回品）、飲食業、サービス業の全てで増加傾向となっており、回復傾向を示している。



業種別 業況判断DIの推移(R元年 4-6 月期～R3年 4-6 月期)



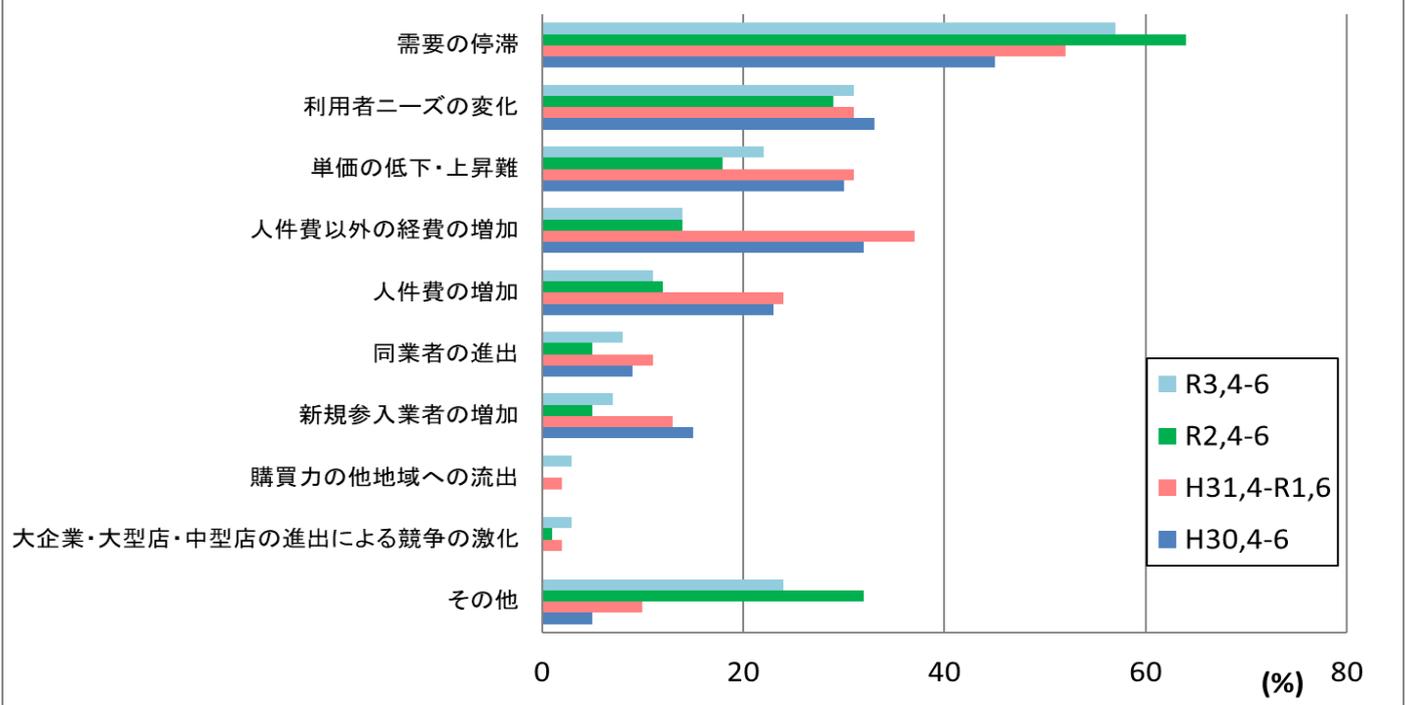
□設備投資の動向

- ・投資件数は 17 件（3 カ月前と比べて±0 件）となっており、その内訳は OA 機器 6 件、機械設備 1 件、車両運搬具 6 件、建物等 4 件、その他 0 件となっている。

□経営上の問題点（延べ問題点件数に対する比率）

- ・経営上の問題点は、①需要の停滞 32%（59 社）が最も多く、②利用者ニーズの変化 17%（32 社）、③単価の低下・上昇難 12%（23 社）、④人件費以外の経費の増加 8%（14 社）、⑤人件費の増加 6%（11 社）が続いている。

経営上の問題点（回答社数に対する比率）

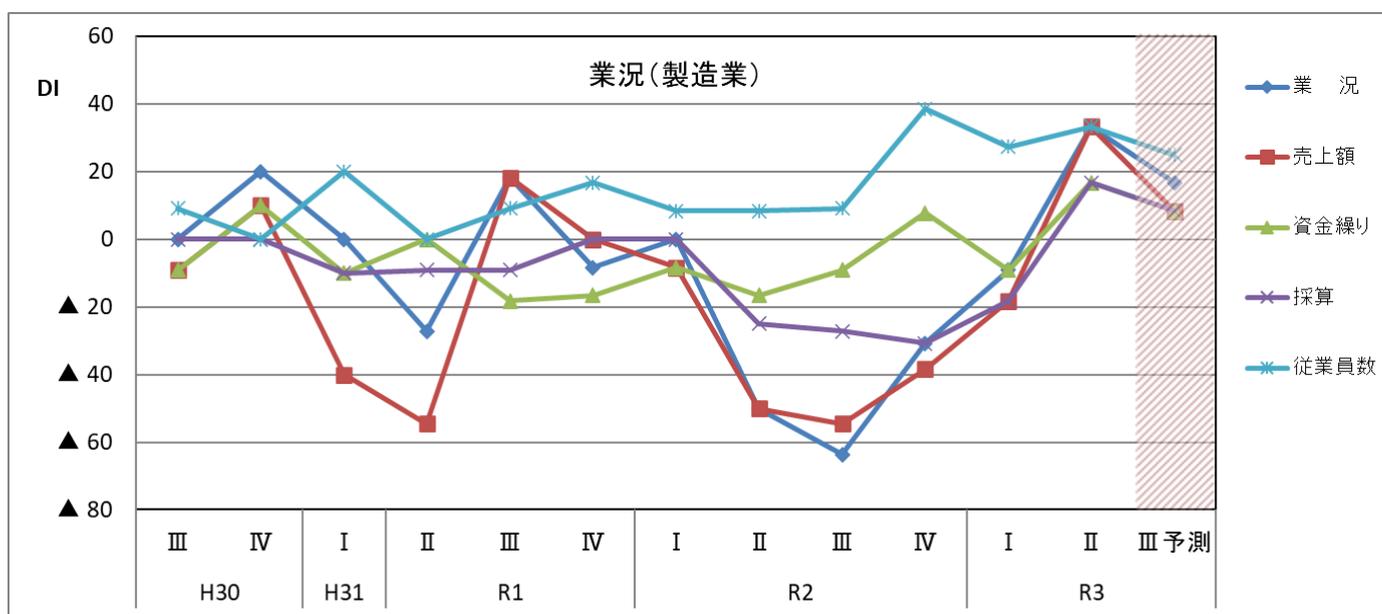


## II. 業種

### 1、製造業

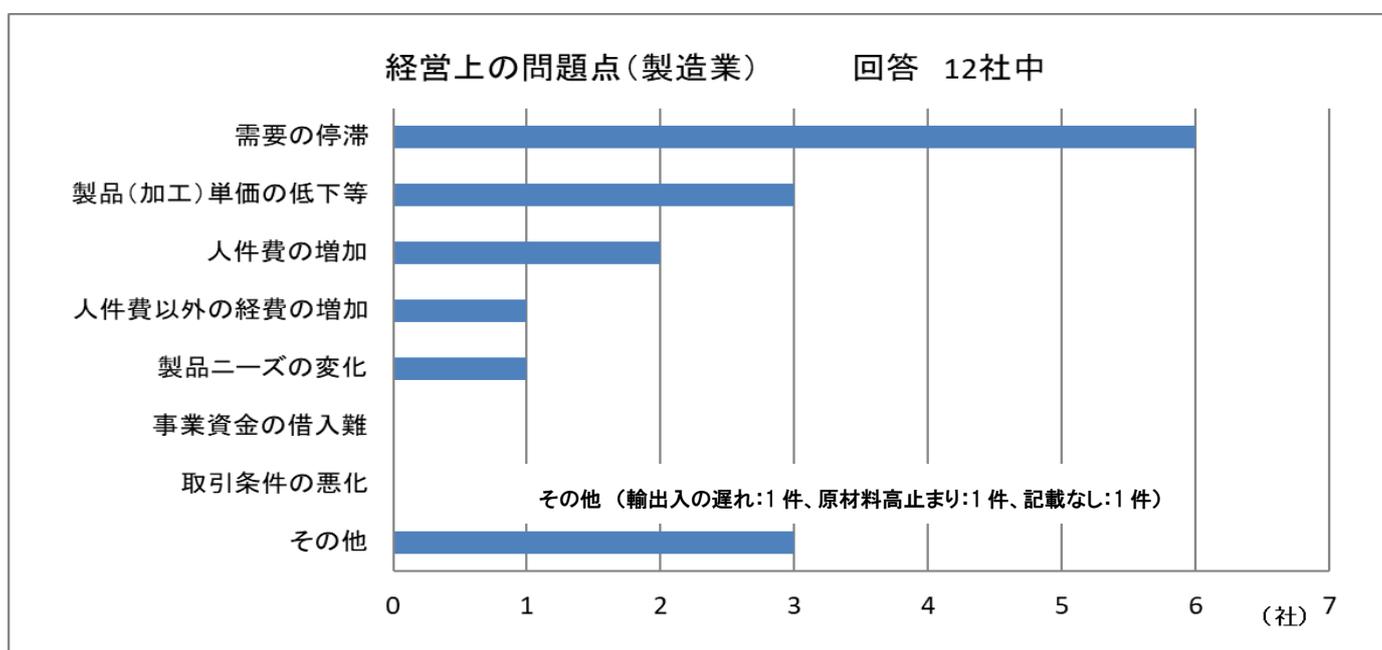
#### □業況D I

- ・業況判断D Iは、+33.3%（前期比 42.4 ポイント増）と大幅な回復傾向にある。  
3ヶ月先も、+16.7%と回復の見通しである。
- ・売上D Iは、+33.3%（前期比 33.3 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、  
3ヶ月先も、+8.3%と回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、+16.7%（前期比 34.9 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、  
3ヶ月先も、+8.3%と回復の見通しである。
- ・採算D Iは、+16.7%（前期比 44.0 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、  
3ヶ月先も、+8.3%と回復の見通しである。
- ・従業員数D Iは、+33.3%（前期比 6.0 ポイント増）で更に人手不足が進む傾向にあるが、  
3ヶ月先も、+25.0%と人手不足が継続する見通しである。



□設備投資の動向 機械設備 1 件、車両運搬具 1 件

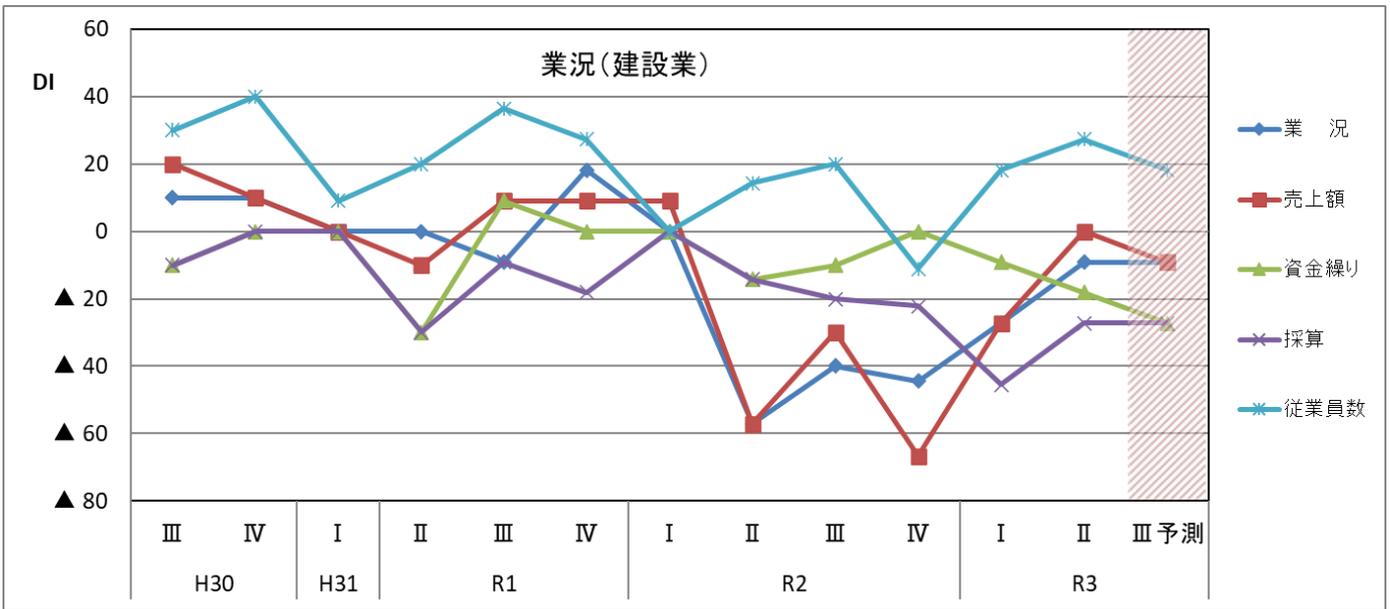
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



## 2、建設業

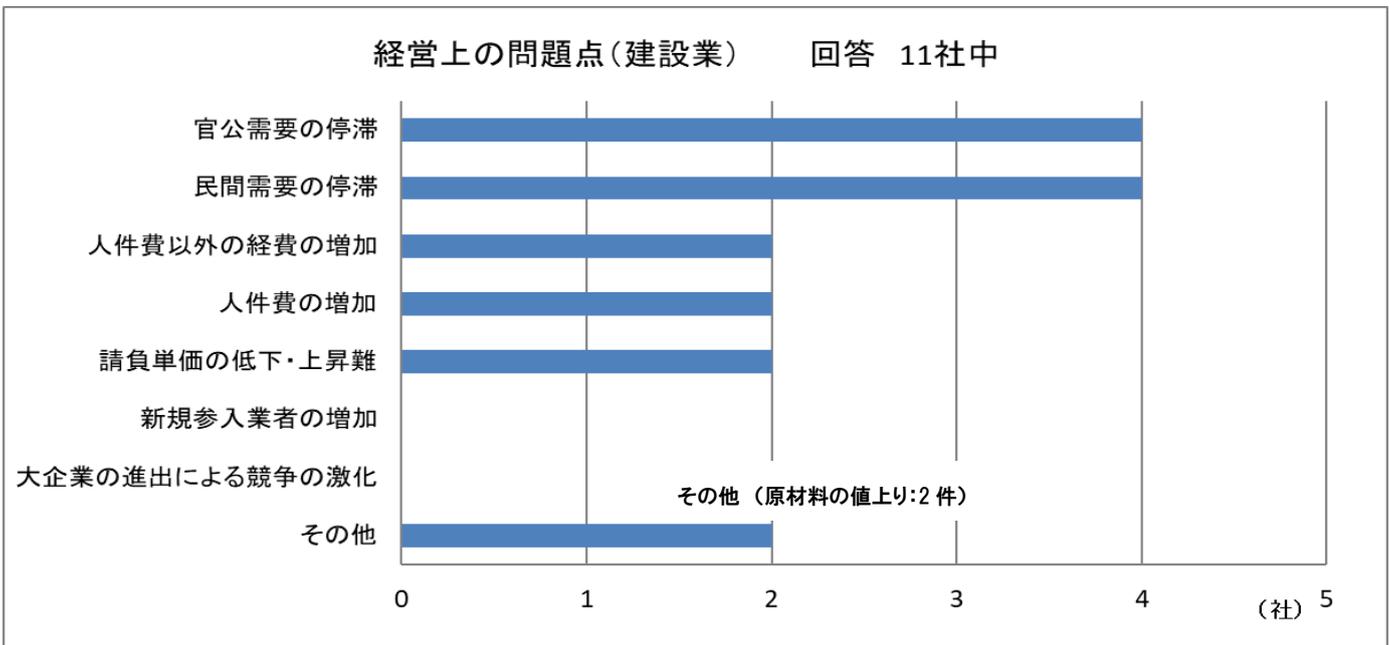
### □業況D I

- ・景況判断D Iは、▲9.1%（前期比 18.2 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲9.1%と横ばいの見通しである。
- ・売上D Iは、±0.0%（前期比 27.3 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、▲9.1%と低下の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲18.2%（前期比 9.1 ポイント減）と低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲27.3%と更に大幅な低下の見通しである。
- ・採算D Iは、▲27.3%（前期比 18.2 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、▲27.3%と横ばいの見通しである。
- ・従業員数D Iは、+27.3%（前期比 9.1 ポイント増）で更に人手不足となっているが3ヶ月先は、+18.2%とやや人手不足は改善する見通しである。



□設備投資の動向 設備投資案件はなし

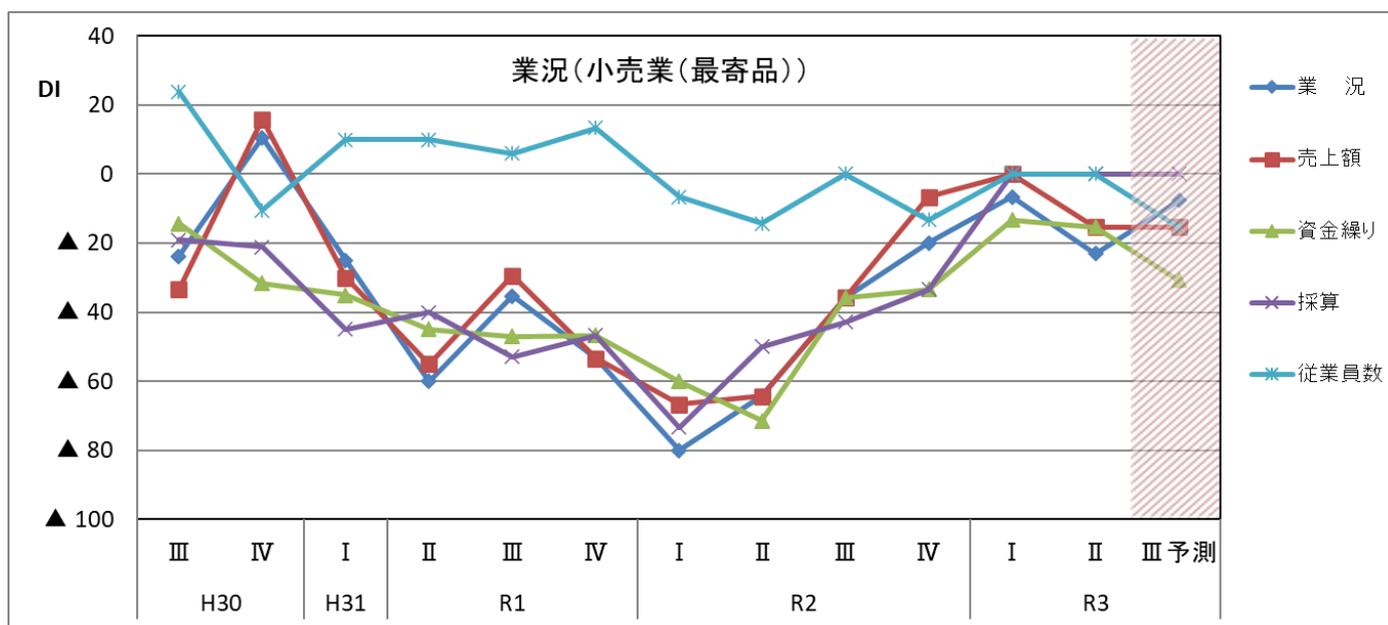
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



### 3. 小売業（最寄品）

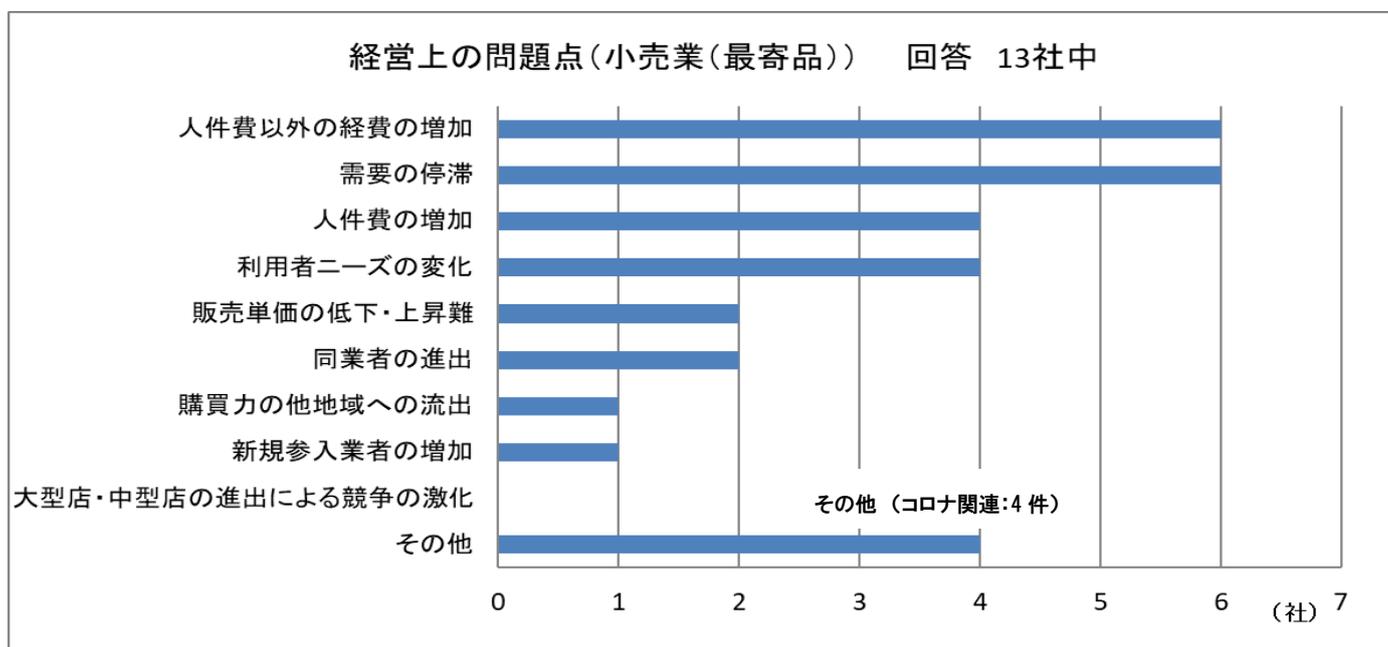
#### □業況D I

- ・景況判断D Iは、▲23.1%（前期比 16.4 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先も、▲7.7%とやや回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲15.4%（前期比 15.4 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが3ヶ月先は、▲15.4%と横ばいの見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲15.4%（前期比 2.1 ポイント減）とやや低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲30.8%大幅な低下の見通しである。
- ・採算D Iは、±0.0%（前期比±0.0 ポイント）と横ばい傾向にあるが、3ヶ月先も、±0.0%と横ばいの見通しである。
- ・従業員数D Iは、±0.0%（前期比±0.0 ポイント）と横ばい傾向にあるが3ヶ月先は、▲15.4%と人手が過剰となる見通しである。



□設備投資の動向 ○A機器 1 件となっている

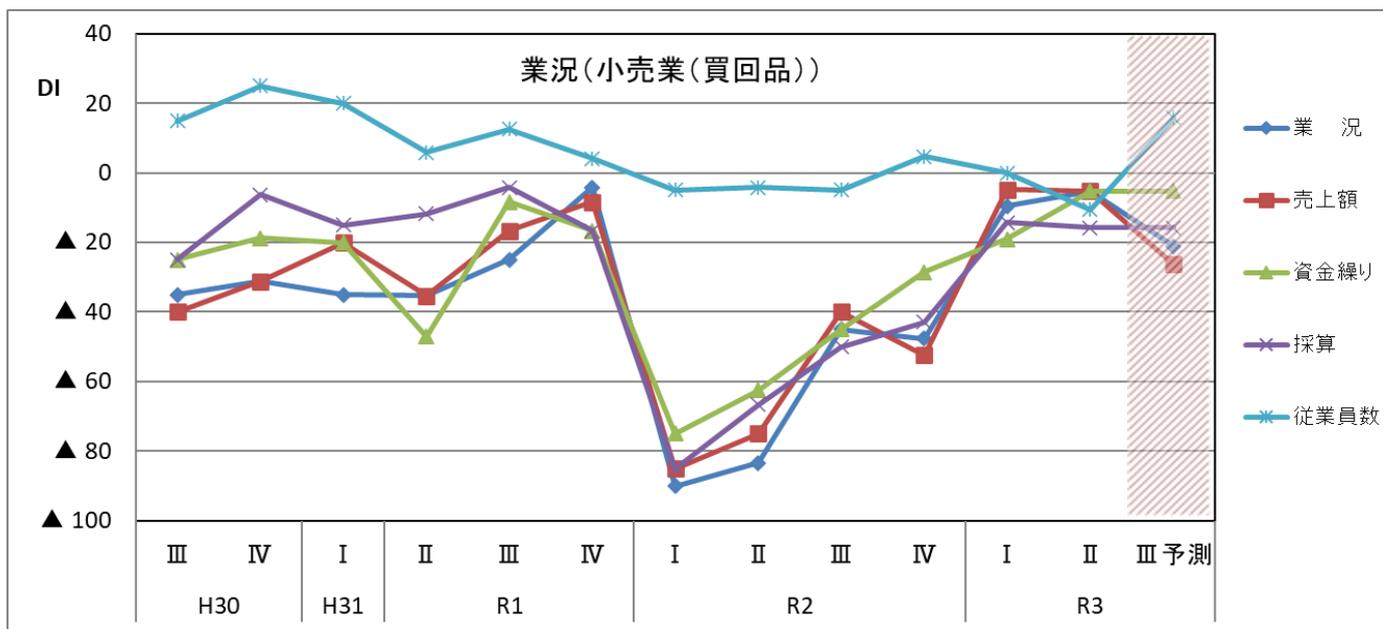
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



#### 4、小売業（買回品）

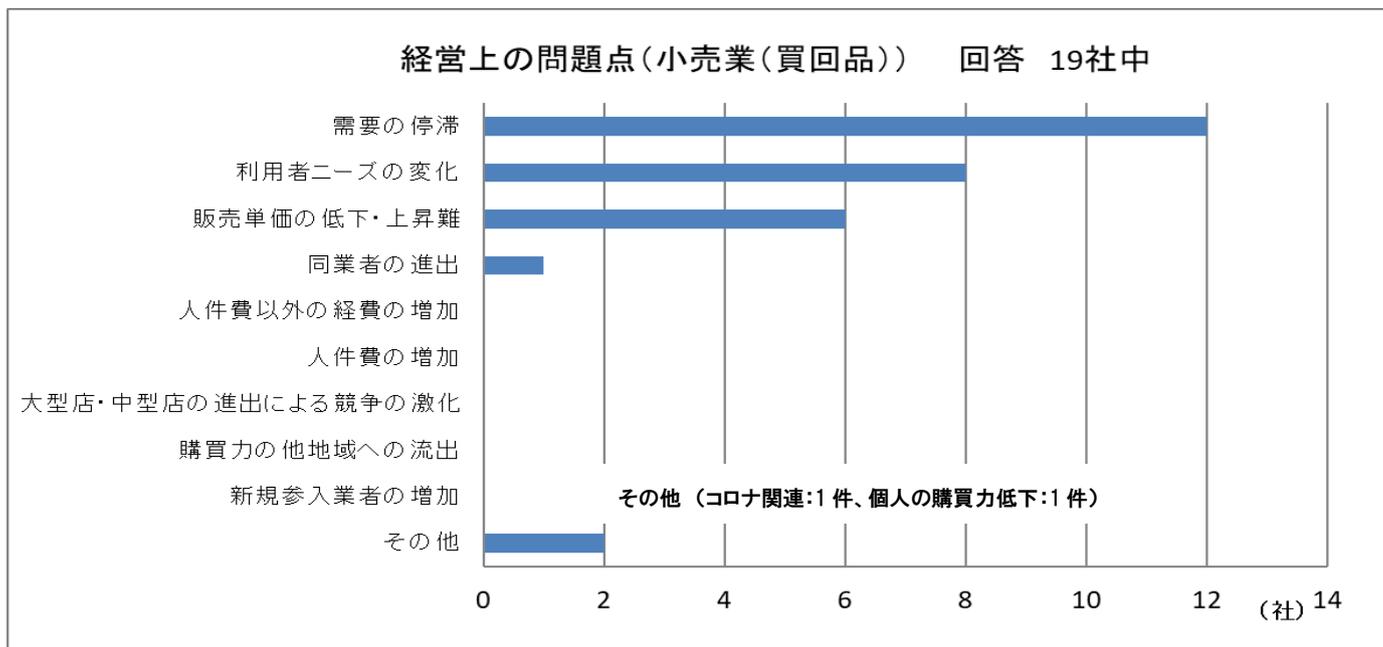
##### □業況D I

- ・業況判断D Iは、▲5.3%（前期比 4.2 ポイント増）とやや回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲21.1%と大幅な低下見通しである。
- ・売上D Iは、▲5.3%（前期比 0.5 ポイント減）とやや低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲26.3%と大幅な低下見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲5.3%（前期比 13.7 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、▲5.3%と横ばいの見通しである。
- ・採算D Iは、▲15.8%（前期比 1.5 ポイント減）とやや低下傾向にあるが、3ヶ月先も、▲15.8%と横ばいの見通しである。
- ・従業員数D Iは、▲10.5%（前期比 10.5 ポイント減）と人手が過剰となっているが、3ヶ月先は、+15.8%と人手不足の見通しである。



□設備投資の動向 ○A機器 1 件、車両運搬具 1 件、建物等 3 件となっている。

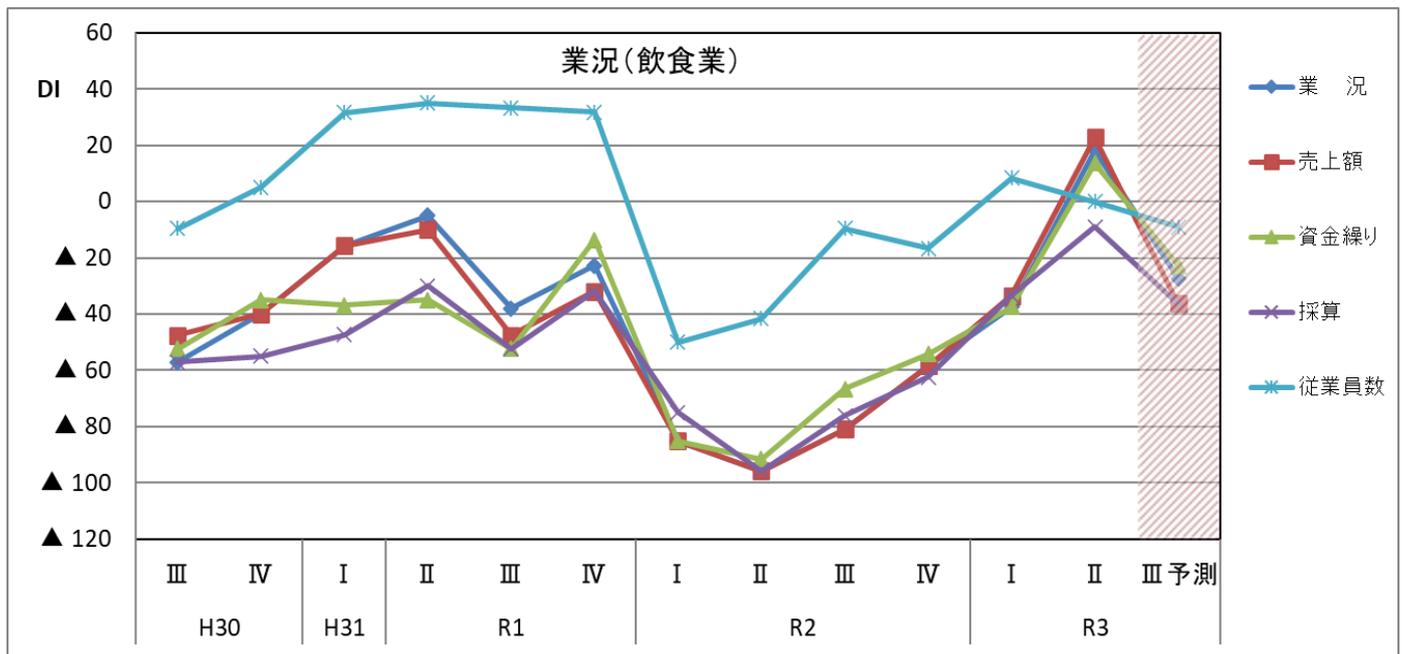
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



## 5、飲食業

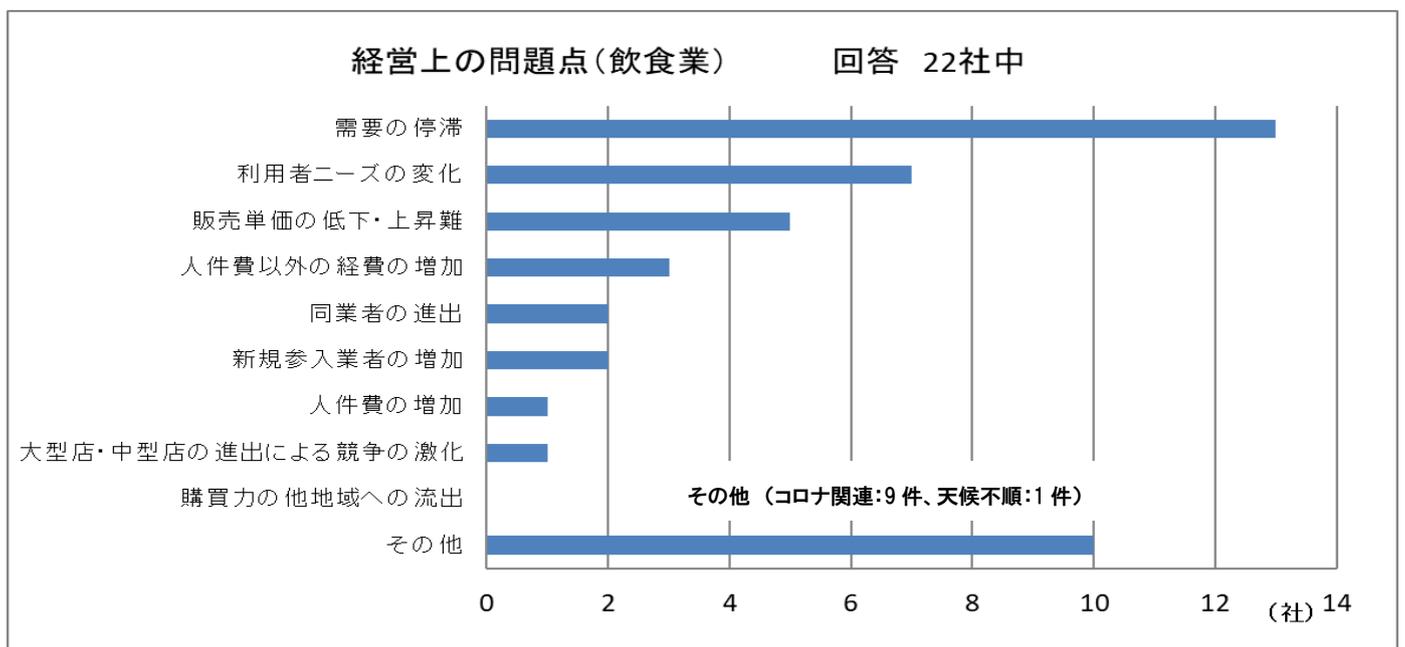
### □業況D I

- ・業況判断D Iは、+18.2%（前期比 55.7 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲27.3%と大幅な低下見通しである。
- ・売上D Iは、+22.7%（前期比 56.0 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲36.4%と大幅な低下見通しである。
- ・資金繰りD Iは、+13.6%（前期比 51.1 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲22.7%と大幅な低下見通しである。
- ・採算D Iも、▲9.1%（前期比 24.2 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲36.4%と大幅な低下見通しである。
- ・従業員数D Iは、±0.0%（前期比 8.3 ポイント減）と人手不足は解消しつつあるが、3ヶ月先は、▲9.1%と人手過剰となる見通しである。



□設備投資の動向 ○A機器 2 件、車両運搬具 1 件となっている。

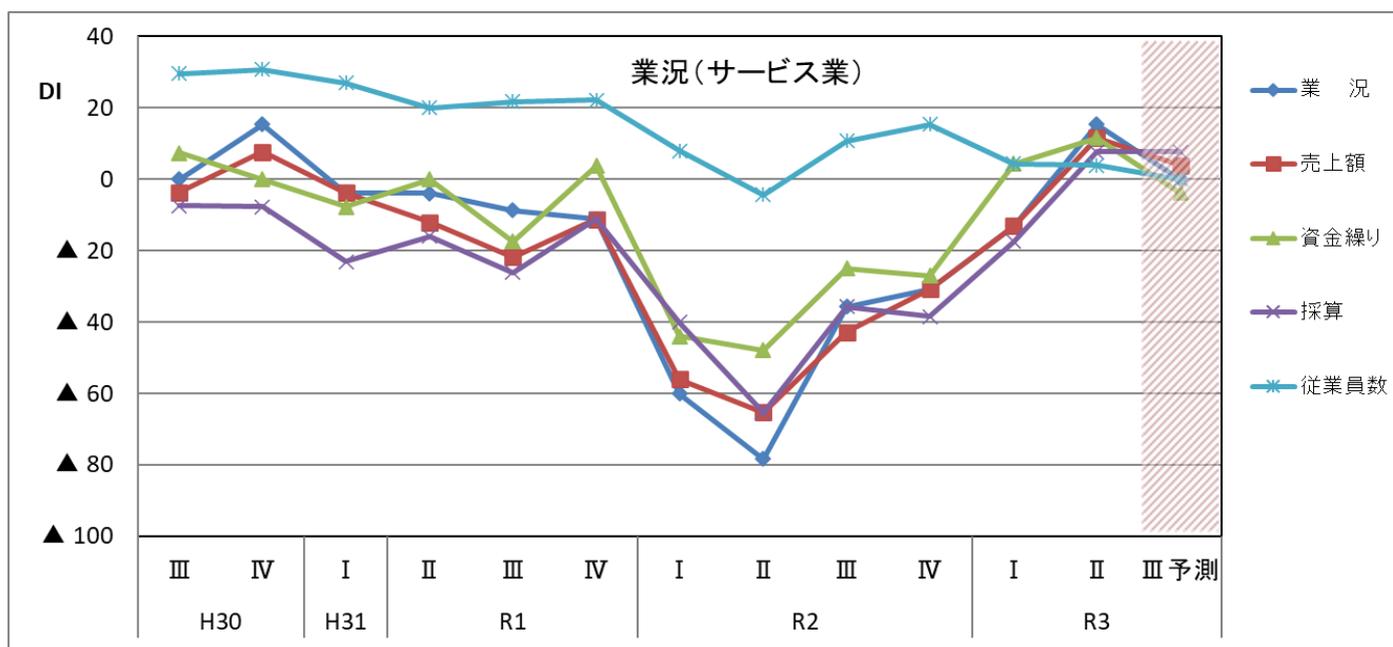
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



## 6、サービス業

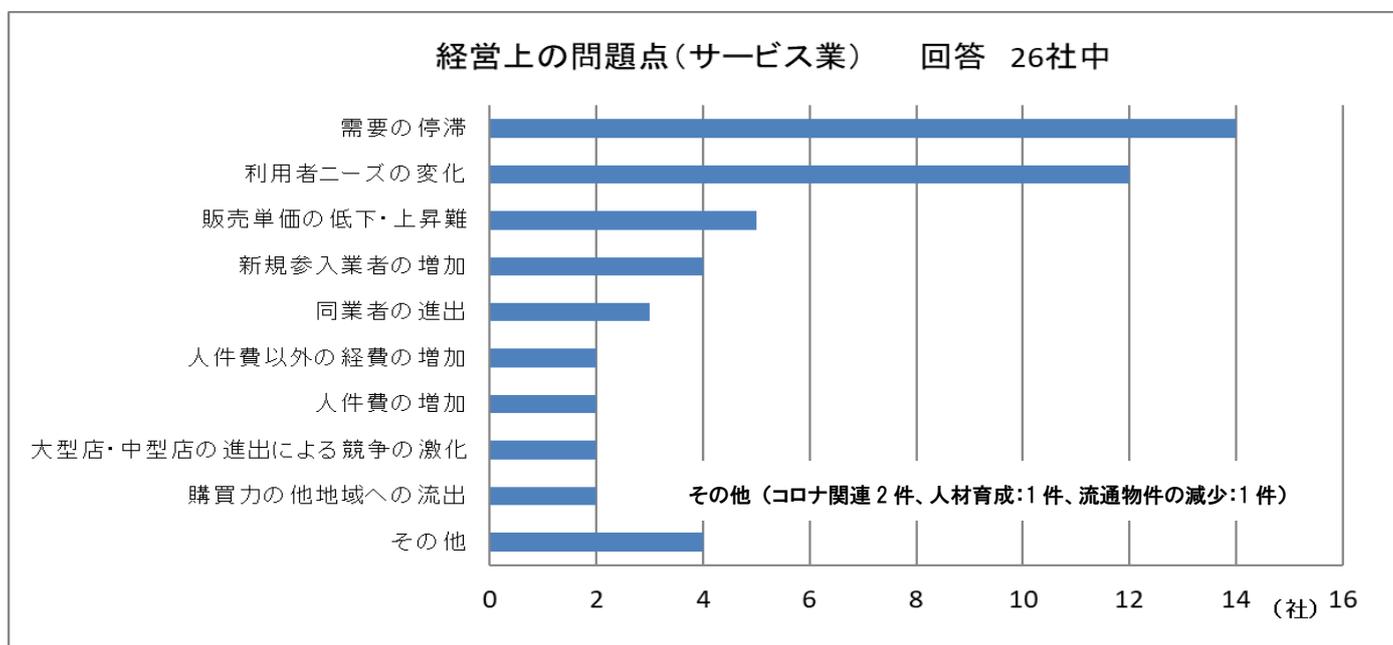
### □業況D I

- ・業況判断D Iは、+15.4%（前期比 28.4 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、±0.0%と大幅な低下見通しである。
- ・売上D Iは、+11.5%（前期比 24.5 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、+3.8%とやや低下見通しである。
- ・資金繰りD Iは、+11.5%（前期比 7.2 ポイント増）とやや回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲3.8%と大幅な低下見通しである。
- ・採算D Iは、+7.7%（前期比 25.1 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、+7.7%と横ばい見通しである。
- ・従業員数D Iは、+3.8%（前期比 0.5 ポイント減）とやや人手不足が解消されるが、3ヶ月先は、±0.0%と更に人手不足が解消される見通しである。



□設備投資の動向 OA 機器等 2 件、車両運搬具 3、建物等 1 件となっている。

□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



《資料》5年分の推移

